

弥生が丘自治会 生活環境部研修会 開催

～たかがごみ、されどごみ 皆んなで考えよう、ごみ・環境問題～

8月10日(土)弥生コミセンで、ごみ・環境問題をテーマに開催しました。参加者57名

三田市クリーンセンターからは、以下についてわかりやすくお話いただきました

- ① 「使い捨てライター(可燃ごみ)やカセットボンベ(不燃ごみ)の出し方」
～収集車両の火災、爆発事故防止のため、ガス抜き、穴あけの励行
- ② 水銀ごみ(蛍光管、水銀体温計・温度計・血圧計)の分別回収
～水銀による環境汚染防止のため10月からはFT 市民センターに
設置の回収 BOX にお出し下さい。不燃ごみでは回収されません
- ③ 空きびんの出し方、空きびんの種類の見分け方
- ④ 食品ロスの削減～年間約640万トンの廃棄(内、約半数近くが家庭からの廃棄)



自治会生活環境部からは

- ① 再生資源(リサイクルデーで回収している古紙類、衣類、アルミ缶、空きびん)の回収量・収益の推移(平成21年～30年)と問題点。「燃やさないごみ袋」取り残しの現状と改善、他
- ② 生活環境部の取り組み事例(平成22年～30年)の紹介。事例を参考にさらなる改革を!



3R (サンアール) の実践でごみの減量化

<i>Reduce</i> リデュース	発生抑制：ごみの元を断つ ごみそのものを減らす
<i>Reuse</i> リユース	再利用：一度使用したものを、もう一度使う、繰り返し使う
<i>Recycle</i> リサイクル	再生資源化：一度使用したものを形を変えて再生利用



★研修に参加された方の感想、提案の一部です★

- ・空きびんの分別の基準が複雑でわかりづらい。もう少し単純にすべきだ。
- ・今まで燃やすごみに出していた“雑がみ”は、今後は分別しリサイクルデーに出すようにします
- ・ライターや蛍光管、旅行カバン等の出し方が良く理解できた
- ・ごみの収入が、数年前230万円あったのが今年は130万円と約半分近くになることが、今日のお話で分かりました。自治会全体の収益を見直す必要がありますね
- ・このような勉強会は定期的に関き、ごみの分別の啓発・周知を図っていただきたい

研修会当日利用したレジュメを添付しています。ご参考にしてください 令和元年8月 生活環境部